※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える（山川出版社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この学習の目的は「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を身につけ「よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求し解決しようとする態度を養う」ことである。そのために、まずは活動をするための前提である「①知識及び技能の習得」を行う。知識の習得とは、理解することである。次に「②見方・考え方を働かせる」ために「a.時系列（時期や年代）・b.諸事象の推移（展開・変化・継続）・c.諸事象の比較（類似・差異）・d.事象相互のつながり（背景・原因・結果など）・e.現在とのつながり」の５つの具体的な視点と方法に着目し、社会事象を捉える。最後に①と②をもとに「③課題追究や解決のための活動」を行い、「思考力・判断力・表現力」を養う科目が、歴史総合である。

２　学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を修得する。
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動」を通じて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察・構想する。
よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求し解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能として以下の①～③に分類する ①課題の解決に向けて必要な、社会的事象に関する情報を収集する技能 ②収集した情報を、社会的事象の歴史的見方・考え方を働かせて読み取る技能 ③読み取った情報を課題の解決に向けてまとめる技能	以下の①～③に分類する ①歴史に関わる事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力 ②学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえ、課題の解決を視野に入れて構想できる力 ③歴史に関わる事象の意味や意義について、資料などを適切に用いて自分の考えを論理的に説明する力	以下の①～③に分類する ①問いを知り、課題意識を持とうとしている。 ②社会的事象を具体的な５つの視点（時系列・諸事象の推移・比較・事象相互の繋がり・現代との繋がり）に着目して捉えようとしている。 ③よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化と私たち	結びつく世界と日本の開国	a:18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア諸国と欧米諸国の貿易などをもとに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめられている。 b:18 世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、既習事項も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○		○
		国民国家と明治維新	a:18 世紀後半以降の欧米の動向や、日本の明治維新などをもとに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 b:アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、既習事項も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	総力戦と社会運動	a:第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長などをもとに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦後の国際協調体制を理解している。 b:第一次世界大戦の推移とその後の影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的考察し、表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、既習事項も振り返りながら課題を追究しようとしている。		○	○

※令和４年度以降入学生用

		経済危機と第二次世界大戦	a:世界恐慌やファシズムの伸長、日本の対外政策などをもとに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。 b:各国の世界恐慌への対応の特徴や、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、既習事項も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○
3	グローバル化と私たち	冷戦と世界経済	a:脱植民地化と、冷戦下の地域紛争、軍備拡張などをもとに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。 b:地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、各国の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、既習事項も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○		○
		世界秩序の変容と日本	a:石油危機、アジアの諸地域の経済発展などをもとに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解している。 b:日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、既習事項も振り返りながら課題を追究しようとしている。		○	○

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度